新	規·継続等	新規	分野		に対する地すべり a傾斜地崩壊対策	事業番号	14	事業名	急	<b>.傾斜地</b> 崩	崩壊対策等				
ते	町村名	駒ヶ村	見市 ぶりがな 箇所名		<sub>あまたぎり</sub> 太田切					事業年度 (完了年度は見込み)		年度~ H		H28	年度
	計 画 概 要 (延長・編員・面積・工種など) 吹付法枠工 L = 300 m									H22年度末事 進捗率	事業 0 %			%	
事	H23年度以降残実施内容 同上										本工事費等へ	ミース		0	%
ЯÆ	H23年度実施内容 設計·用地測量·用地補			也補償 1式	l 1式 用地補值					用地補償費へ	ベース		0	%	
業	年 度 全体事業費			H21年度まで	H21年度まで H22年度 H23年度						ŀ	H23年度	以降死	戋	
概	事業費	計(千円)		300,0		0			0		10,500				300,000
要		国庫支出金	142,500 15,000 128,000			0			0		4,988			1	142,500
	財源内訳	その他 県債				0		0			525 4,000			1	15,000 128,000
		一般財源		14,		0	C							14,500	
	観点	観点 評価項目·指標等					評	佰	<u> </u>				部評点		評価課
		保全対象人家戸数 保全対象公共施設数			20戸以上		10 ~ 1	9戸		10戸未	 :満	,	10		10
	必要性				2箇所以上		1箇所			なし			6		6
	( 20 )	保全対象に打	爰護者施設	重要施設あり		一般施設ありなし				Α	3	A	3		
		保全対象に過	壁難所,避難;	経路がある	か あり		なし						1		1
			小	<del>:</del> †									20		20
		過去の災害	<b>覆歴</b>		過去10年に1回り	<b>人上</b>	災害履	<b>夏</b> 歴地		なし			8		8
	重要性	交通遮断による地域経済などへの影響			響大		中			<b>小</b>		Α	2	Α	2
	( 15 )	防災計画上の位置づけ			位置づけあり		位置っ	づけなし					2		2
筃		小計											12		12
	効率性	効率性 費用対効果(B/C)			B/C3.0以上	B/C3.0以上 B/C1.0以上3.0未満				B/C1.0	0未満	۸	14	۸	14
所	( 20 )	早期発現度   小 計   斜面の高さ   斜面平均勾配			5年未満		5年~10年未満			10年以	Α	3	А	3	
													17		17
評					30m以上		10m以	.上30m未	苘	5m以上	_10m未満		5		5
					45°以上		40°以上45°未満			30。內	30°以上40°未満		4		4
価	緊急性	地質状況 斜面形状(オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形) 植生の状況			崩積土、火山砕原物、強風化岩	<b>当</b>	段丘堆	<b>i</b> 積物		軟岩·	その他	Α	3	Α	3
	( 25 )				りあり		なし						3		3
					不良	Į į			通		良好		2		2
		保全対象の位置			がけ下にある		がけ上	にある					5		5
		小 計											22		22
	計画	地元の協力		用地等の協力が られる	得	用地等の協力が概 ね得られる			協力が現時点では 得られていない		۸	7	٨	7	
	熟度	地域からの製	<b></b>			高い それほど高くない				10.540		Α	10	Α	10
	( 20 )	小 計											17		17
	費用対効	<u>L</u> 果(B / C)		9.39		評	価	の合	計	t		Α	88	Α	88
	事業実施 史的経緯 景	·社会的背人	家29戸がま	あり、また、 <i>1</i>	竜川の河岸段丘に位置 がけ下には知的障害者援 険性が高く、土砂災害発	護施設	の「駒	ヶ根悠生簀	餐」か	があり、約50	名が生活して	いる。	今後の	豪雨や	地震等
事	地域から( 緯	の要望経	上記の状況	から駒ヶ根	市から事業実施の要望を	51)。									
業周	平成13年1月に事業概要説明実施。平成14年12月、平成15年2月に第1期分(悠生寮前付近)の工法案及び急仰事業説明等の経緯 説明会実施。平成15年5月に地元要望を踏まえた修正案の説明会を実施し、基本的に了解を得るが、指定地の行為														
		あるの配慮			」式擁壁工のみによる対象			•	策工	は行わない	こととし、伐採	を最小	限にした	<b>.</b>	
環境	他事業・プロジェクト														
	特記事項特になし。														
	地域の合	意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数	<b>対賛成</b>	1	動向不	明	そ(	の他		
	部意見	保全対象に人家33戸、災害時要援護者施設がある。斜面には不安定 な浮石も見られ、近年は落石も発生しており、早期に対策を行う必要 がある。											<b>ప</b> .		
_		I											批品技		